



# フィグ・ヤーパン通信

## 第23号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.23

発行日 2005年7月1日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

### 講演会開催のお知らせ

来る10月2日(日)に、FIGUスイス基幹会員のシュテファン・リッカウアー氏とシモーネ・リッカウアー氏を招いて、講演会を開催する予定です。FIGUスイスの基幹会員による日本での招待講演は、今回で3回目となりました。リッカウアー夫妻は、2003年に引き続き、私たちの招待を快く引き受けてくださいました。リッカウアー夫妻は、10代の頃からFIGUスイスのセンターを訪れるようになり、現在はFIGUスイスの基幹会員として、ホームページの管理や講演などで広く活躍されています。

今回の講演会は、『瞑想入門』の翻訳出版を記念して、本書に関連の深いテーマで開催されます(フィグ・ヤーパンによる『瞑想入門』の出版は、年内を予定しています)。なお、シュテファン・リッカウアー氏による、本書を紹介した小冊子『瞑想入門の手引き』が、すでに翻訳出版されています。

講演会の終了後は、リッカウアー夫妻を囲んでの懇親会の開催も予定しています。さらに、この講演会が、日本の読者の皆様にとって、日頃のご親交を深める機会となりましたら幸いです。

講演会は、どなたにもご参加いただけます。参加のお申し込みは、同封の葉書を投函いただくか、氏名・連絡先住所をご記入の上、「講演会参加希望」と明記して、フィグ・ヤーパンに直接ファックス(0426-37-1524)あるいはメール(jp@figu.org)にてご連絡ください。後日、講演内容も含めた詳しい案内をお送りいたします。

#### □ 講演会の日程 □

日付 平成17年10月2日(日)  
 場所 日本青年館(東京都新宿区)  
 時間 午後1時~午後4時  
 参加費 3,000円(当日会場にて徴収)

※講演会の終了後に、懇親会の開催を予定しています。

#### 日本の皆様へ

再びフィグ・ヤーパンから講演の招待を受けたことを私たちは非常に光栄に思います。これによって私たちは真理の教えが、多くの不利な条件や妨げにも拘らず、すでに世界中に広まっていることを喜びをもって実感する次第です。今秋の2度目の日本訪問で、皆様にお目にかかることを、私たちは非常に楽しみにしています。2年前と同様、今回もまた皆様のすべての疑問について、あらゆる面で釈明をもたらすことを目指しています。



シモーネ・リッカウアー氏と  
シュテファン・リッカウアー氏

## 新刊案内『プレアデス／プレヤール人との CONTACT 記録(2)』

CONTACT 記録のシリーズ 2 作目となる、『プレアデス／プレヤール人との CONTACT 記録(2)』が水瓶座時代出版より 7 月 1 日に翻訳出版されました。本書には、1975 年に実施された、ビリーとプレアデス／プレヤール人のセミナーによる、第 10 回～第 28 回会見の記録が収録されています。シリーズ 1 作目に引き続き、地球人の意識と霊の発展にとって重要な教え、イマヌエルが作成した祈りの言葉等の、興味深く重要な内容が盛りだくさんです。

書籍は、フィグ・ヤーパンからお求めいただけます（自費出版のため、一般の書店ではお求めいただくことができません）。1 冊当たりの価格は 2,000 円（税込み）、送料は 290 円（重さは 440g）です。複数冊まとめてお求めの場合の送料は、2 冊で 340 円、3～4 冊で 450 円、5～6 冊で 590 円、7 冊以上まとめてお求めいただいた場合の送料は無料となります。

ここでは、フィグ・ヤーパン通信の前号に引き続き、新約聖書に記されたマリアの受胎について、セミナーが明かした興味深い内容の一部をご紹介します。

**ビリー**：よく聞く主張だが、霊体においても繁殖がありえるというね。さらにキリスト教では、マリアは霊の力もしくは「精霊」によって受胎したと主張されている。

**セミナー**：それは、人間の邪悪な空想の馬鹿げた産物であって、病的に思考する地球人によって編み出されたものです。彼らは限度を越えた病的な空想によって、霊の真理を不可能なほど歪曲させるのです。あらゆる真理と知識を喪失し、そのために全宇宙で最も邪悪な存在にまで自らを貶めるのです。とは言え、地球人は宇宙に存在する他のすべての生命体と比べてより悪いとか、またはわずかに悪いということではありません。いまや地球人は邪悪な奈落へと滑り落ちているのは確かですが、だからと言って彼らは他の生命体より悪いわけではないのです。なぜなら、他の人間も同じ発展の段階を通過しなければならないからです。だから私たちの側から、あるいはまた私たちよりもずっと上位の霊的水準から大多数の地球人を叱責したとしても、それは地球人が他の生命体より劣るという意味ではありません。



プレアデス／プレヤール人との CONTACT 記録(2)  
 フィグ・ヤーパン監訳 明瀬一裕翻訳  
 水瓶座時代出版刊  
 A5判 ソフトカバー 320 ページ  
 ISBN 4-902768-01-1  
 重さ：440 g (送料：290 円)

### 目次

|  |     |
|--|-----|
| 第 10 回会見 (1975 年 3 月 26 日 水曜日 15 時 20 分) …………… | 4   |
| 第 11 回会見 (1975 年 4 月 15 日 火曜日 15 時 40 分) …………… | 34  |
| 第 12 回会見 (1975 年 4 月 20 日 日曜日 03 時 11 分) …………… | 55  |
| 第 13 回会見 (1975 年 4 月 25 日 金曜日 17 時 20 分) …………… | 75  |
| 第 14 回会見 (1975 年 4 月 29 日 火曜日 14 時 00 分) …………… | 82  |
| 第 15 回会見 (1975 年 5 月 1 日 木曜日 15 時 57 分) ……………  | 98  |
| 第 16 回会見 (1975 年 5 月 3 日 土曜日 08 時 17 分) ……………  | 116 |
| 第 17 回会見 (1975 年 5 月 9 日 金曜日 02 時 48 分) ……………  | 123 |
| 第 18 回会見 (1975 年 5 月 15 日 木曜日 21 時 34 分) …………… | 141 |
| 第 19 回会見 (1975 年 5 月 16 日 金曜日 14 時 09 分) …………… | 164 |
| 第 20 回会見 (1975 年 5 月 20 日 火曜日 10 時 14 分) …………… | 168 |
| 第 21 回会見 (1975 年 5 月 27 日 火曜日 02 時 06 分) …………… | 187 |
| 第 22 回会見 (1975 年 5 月 28 日 水曜日 18 時 17 分) …………… | 198 |
| 第 23 回会見 (1975 年 6 月 3 日 火曜日 10 時 44 分) ……………  | 222 |
| 第 24 回会見 (1975 年 6 月 7 日 土曜日 09 時 08 分) ……………  | 251 |
| 第 25 回会見 (1975 年 6 月 16 日 月曜日 01 時 46 分) …………… | 263 |
| 第 26 回会見 (1975 年 6 月 18 日 水曜日 04 時 11 分) …………… | 276 |
| 第 27 回会見 (1975 年 6 月 25 日 水曜日 14 時 37 分) …………… | 289 |
| 第 28 回会見 (1975 年 6 月 27 日 金曜日 10 時 47 分) …………… | 300 |
| 「ビリー」エドゥアルト・アルベルト・マイヤー氏について ……                 | 309 |
| 用語解説 ……………                                     | 310 |
| フィグ・ヤーパンの出版物 ……………                             | 313 |
| フィグ・ヤーパンについて ……………                             | 320 |

真理というものは常に苛酷<sup>かこく</sup>な響きを持つもので、喜んで傾聴されることは決してないのです。したがって地球人の発達に関する真理が苛酷で厳しいものに聞こえたとしても、そのために悪の面を過大評価すべきではありません。というのはすでに言ったように、地球人はこの宇宙において、やはり固有の発達段階を通過しなければならない他のすべての生命体より、良くも悪くもないからです。

狂信的な、あるいは単に惑わされた教派信者や妄想者、宗教の信奉者や擁護者は、残念なことに自分たちの理解できないことを空想的で病的な願望でくんでしまう傾向が非常に強くあります。こうして彼らは狂気の中で、創造によって規定され創始された性的な繁殖形態は何か変態的なものと空想するのです。彼らはその病的な狂気のために、このような繁殖形態を規定してそれを良しとみなしたのが創造自体であるという真理を認識できません。そのため、このような狂気に陥った生命体は、性的な繁殖

が非霊的で不純であると信じています。言うまでもなくこのような狂気の観念は、宗教を開いた者の古き誤った教えから生まれたもので、彼らは性的領域における地球人のある種の墮落を、誤って理解された何らかの法律や掟を使って阻止しようとしたのです。元々は彼らは世界の改良を目指し、地球人の性的な墮落だけを監視下に置こうとしたのですが、自分たちにも理解できない誤った解釈によって人間を狂気と混乱に追いやったことには考えが及びませんでした。すでに言ったように繁殖行為は宇宙全体で同一であり、物質的な生命体において霊的な増殖がなされるという考えは病的な空想の範疇<sup>はんちゆう</sup>に属するものです。イマヌエルの母マリアも、何らかの霊的な力や「精霊」によって受胎したわけではありません。彼女は天孫ガブリエルと同衾<sup>どうきん</sup>し、ガブリエルによって身ごもったのです。それは、当時地球人の幾つかの種族を支配していた天孫の指導者、イシュヴィシユと呼ばれた神の高度な命令によるものでした。

(第 23 回会見より)

## ビリーとプターの会話 — 第三次世界大戦は阻止できるか —

(2005 年 2 月 3 日 22 時 57 分 第 376 回会見記からの抜粋)

ビリー：多くの人間は賢くもなったが、そのことは第三次世界大戦を前提とした古い預言が実現されずに済むことにも貢献できるだろう。その預言では一番近い第三次世界大戦は中東に端を發して 2006 年に起きるとされている。その危険はいまなお存在しており、したがって合衆国大統領ジョージ W. ブッシュの勢いがそがれない限り、あるいは別のいかれた狂人が赤いボタンを押したならば、そのような戦争が来年起きる可能性はいまでもあるだろう。実際にこの戦争が勃發したら、その本当の張本人はひとりジョージ W. ブッシュであり、この戦争扇動者に歓呼の叫びを上げるすべての連中が加担するのだ。そうであるにもかかわらず将来良くなるという希望はまだあり、2010 年から 2015 年にかけても期待がもてる。同じように陰鬱<sup>いんうつ</sup>な預言がなされているもつと遠い将来の別の年代についてもそうだ。全人類が最終的に賢くなって、気違いじみた戦争扇動者を阻止し、また嚴重な出産停止によって人口過剰を健全

な水準に減らし、さらに世界中の権力者を自分たちでコントロールして彼らの手から主導権を奪い、権力者たちがもつばら国民の意志に従って行動するようになるならば、ついに地球上に、すべての地球人類のもとに平和と自由、愛と調和が訪れる本当の素晴らしいチャンスが生まれるのだ。

プター：もちろんだ。中東に端を發すると預言されている差し迫った戦争について言えば、現在のところその雲行きはよろしくない。なぜなら、アメリカの戦争扇動者ブッシュ大統領はイランだけでなく、シリアにも戦争を仕掛けようとねらっているからだ。にもかかわらず、大多数の国民層や国家がこの男とその戦争行為に抗議して立ち上がるならば、合衆国大統領の権力を打ち砕くための正しい道を歩むという希望はまだある。

(出典：FIGU 特別公報第 19 号)

## 49 項目の質問と回答

— 生命と人間存在の全般に関する 49 の質問に回答するための道しるべ —

### 4. 夢は・・・泡のよう？

Der rosarote Kristall

'Das unsichtbare Koenigreich'

... しかしそれでも人間にとって、これらの夢を正しく見て理解し、記憶に留めておくことは難しいのです。なぜなら現実の悪い王が何度も自分の悪い手下を送り出しては、これらの夢とその記憶を壊してしまうからです。悪い王は、人間がしばしば非常に醜く悪い現実の中で生きるよう望んでいるのです。でも本当は現実ほかならぬ人間自身のせいで、これほど悪く醜くなっているのです。それというのも人間は人生において非常に多くの物事を誤まり、自分勝手に生き、ひたすら富を追い求めながら、知識や英知、善や真理などの価値のあるものはすべて<sup>しりぞ</sup>斥け、美やすべての夢もないがしろにして踏み<sup>しりぞ</sup>にじるからです。残念なことです。そのようなわけで現実の悪い王は、地球のほとんどすべての人間を支配することもできるのです。

### 5. 私たちはなぜ生きているのですか。私たちの人生にはどんな意義と目的があるのですか。

Geisteslehre

Einfuehrung, Sinn des Lebens

人間は宇宙の中で宇宙の一部として、不変の法則と特定の存在目的をもって生きている。これらの普遍的な法則と存在目的を認識し把握する者は、人生の意義をも認識し把握するし、その認識を常に自分の存在と関係づけるよう絶えず努力を続けるであろう。そうすることにより人間は自分自身を認識し、自分自身に対する強力な主人となり、それによって周囲の世界に善い影響を与える。

Genesis

Auslegende Erklarung, Satz 392-395

この、万物の中で万物と共に進化するというのは、植物相および動物相だけでなく、万物の中で万物と共に進化すべき人間の生命体にも該当する。これは

また、すべての生命体は進化の過程の統一的な履行において互いに共生し、内面的なものにおいても外面的なものにおいても、すなわち霊的なものにおいても物質的なものにおいても、七層の法則を履行しながら統一体として合体しなければならないことも意味している。

それゆえ人間の生は、七層の法則の履行として、霊が完成に向かう進化の履行として生きられるべきであり、いつか完全なものとして、統一的な完全性として、創造自体の意識と心根に到着し、そして創造と同じ方向に向いて創造の中で、また創造と共に固有の完成として完全なものに向かう創造の自己進化を促し、それ自身は自己統一として創造の統一に組み入れられている。

### 6. 私たち地球の人間はどこから来たのですか。

Leben und Tod

Seite 62

さて、死後も魂 (Seele) は生き続けるというのは、カルト宗教に負った全くのナンセンスである。肉体の死と共に魂も死ぬ。なぜなら魂は肉体の純然たる半物理的因子であり、したがって肉体そのものと同様に移ろいゆくものだからである。

人間とその肉体の死後も生き続けて彼岸領域に入るものは、ただ創造の部分としての霊 (Geist) しかなく、これは物理的肉体がそもそも生き得るために必要なものである。この霊は不断の進化に組み入れられており、彼岸領域で生き続けて、ある時間の後に再び新しい物理的肉体に転生する。

### 6. 死後の生は存在しますか。

Semjase-Block 3

31. Kontakt, Satz 603-608 (Semjase)

人間という生命形態は創造によって造られたものです。だから人間は、あなたがたの地球で悪意をもって主張されているように、サルなどの動物に由来

するものではありません。物理的な形態の発展を考えるなら、人間という生命形態の生成過程は非常に長いものです。人間は最初の原始的な生命体から、しかし人間となる定めをもって創り出され、すでに創造の力によって人間となるように賦活<sup>ふかつ</sup>されていました。つまり最初に創られたときから、この被造物は人間的になり、最後には人間となるように定められていたのです。したがってこの生命形態は、そもそもの最初から根本的に固有の類なのです。

OM

*Kanon 8, Verse 78, 79*

そして人間に至るまで生命体が創造された。人間は地球の原物質から、すなわちその物質結合的に働く生命から発達して、独自で固有の系統に忠実な高度に発達した創造的生命形態として造り出された。そして地球および既存の植物相と動物相の物質結合的に働く人間の生命が造られたが、植物相や動物相の生命形態とは直接同類ではない。

**8. 伝授された者にとっての「秘学（秘儀）」は存在しますか。またそれはどうしてそのようにされているのですか。**

Die Psyche

*Seiten 58 und 59*

思考の途方もない力は今日初めて発見されたものではないが、その正しい応用は今日の人間にもまだ目新しく、まるで7つの封印をした書のように不可解に映る。莫大な量のナンセンスと並び、あらゆる現実的なもの、本当のこと、真実、そして法則と掟に適ったものが厳しく禁止された知識として秘学に注ぎ込まれ、普通の第三者は絶対に近づくことができなかつた。これは20世紀の今日でも、その真正さを否定することができない事実である。途方もなく長い歳月にわたって集められた人類の計り知れない知識の多くが、今日なお近づきたい秘学の中に隠されており、法王や僧侶や秘学者が死ぬときまで守られ、人類から隠されたままにされる。だが、なぜか。理由は極めて単純である。人類の大多数が秘学の知識を発見したならば、それは彼らに人生を肯定する驚くべき利益と進歩と成果をもたらすだろう

が、そのとき宗教と政治はごく短期間のうちに根こそぎにされるだろうからである。

**9. 「賢者」はまだどこかに存在しますか。**

Arahat Athersata

*Kapitel 3, Satz 99 und 123*

それゆえ君たちの時代に知識と真理と英知を厳しい言葉で告げ、計り知れない霊の教えを君たちの間に広める真理の告知者と賢者を敬いたまえ。

たとえ地球の人類が、新時代の賢者や預言者を現代までわずか5本の指で数えることができるにせよ、これら少数の人間は人類全体より大きく強大である。

OM

*Kanon 30, Vers 36*

賢者は賢く、誤まることがないので、何らかの事柄について言葉少なに語るか、黙している。なぜなら賢者は、真理は言葉をわずかしかなければならないことを知っているからである。それゆえ賢者が言葉や助言を与えるために唇を開くことはめったにない。

**10. 「OM」とは何を意味するのですか。**

Stimme der Wassermannzeit

*Nr. 50, OM*

OM(サンスクリット語：AUM)は地球では久しく忘れられた古代リラ語に由来する太古の言葉である。

OMという言葉の本当の意味は、2つの文字の価値が十全に示されたとき、すなわちOとMはOMFALON MURADOの頭文字であり、この2つの言葉が説明されたとき初めて認識できる。

しかしOMFALON MURADOという2つの言葉は、頭文字のOとMを組み合わせた略字において、2つの言葉を完全に発音したオムファロン・ムラードと同じか、さらにはもっと高い音調を生み出す。そのためこの略字が用いられるようになり、広くOMとして定着したのである。

古代リラ人は彼らの真理の書(BUCH DER WAHRHEIT)

をOM、OMFALON MURADO、すなわち「生命中心」または「生命の中心」と呼んだ。このOM書は、創造に関するすべての教えを含んでいる。すなわち、その中には英知と生命に関するあらゆる教えが文字で書かれているのである。

### 11. なぜ宗教が存在するのですか。宗教は以前からずっと存在していたのですか。私たちに宗教が必要ですか。

Ein offenes Wort

Seite 166, Satz 1215

... このカルト宗教は根本的にエクナトンというファラオのもとで始まった。このエジプト人は宗教史では一神教、すなわち一神信仰を發明した最初の偉人として知られている。

Semjase-Block 3

31. Kontakt, Satz 304-309 (Ptaah)

したがって地球人の宗教について語るとき、それは現在地球上に存在し、適用され、影響を及ぼしている形態の宗教が意味されている。この意味における宗教は地球上や地球にとって致命的な危険であるだけでなく、宇宙全体にとっても致命的な危険を宿している。地球上に存在しているような意味での宗教は独自のもので、他に類を見ない。宗教は致命的な危険として地球人と惑星全体を支配し、数千年来君たちの世界を靈的な観点で萎縮させてきた。どんな靈的進歩もこれらの宗教によって妨害されて、それ以上進めない。靈の進化は君たちの地球を支配している宗教の邪説によって阻害されているのである。

Dekalog

2. Gebot, Satz 195-197

創造の名を厳肅に扱い、乱用してはならない。

地球の人間よ、君は他の生命形態よりも良くも悪くもないが、我々が知っているすべての生命形態よりもはるかにひどく誤導されている。これもまた、我々の知るどんな水準にも宇宙にも類を見ない、非現実的で理解しがたいカルト的宗教という馬鹿げたものに原因がある。だがそれは君の悪行や悪意のせいではない。なぜなら君はなんらかの不当な理由で誤導されて、搾取と靈の貧困（注：意識の貧困）と奴隷状態に陥ったにすぎないからだ。

### 12. 「知る」または「信じる」？

Wissenswertes

Nr.2, Wissen und Glauben

「信じる」と「知る」との間には根本的な違いが存在する。「信じる」とは、証明できないものを単に盲目的に真理として受け入れることを意味するが、「知る」とは証明できるものだけを受け入れることを意味している。しかし、証明は靈的な要件において、そしてこれこそが一番重要なのであるが、内面的な証明可能性によってしか認識できない。このことは集中的で意識的な思考作業のみが、何らかの事実に関する証明を生み出せることを意味する。これと反対に信じることは決して証明をもたすことができない。なぜならば信仰は差し出されたものを単純に信じるという形での憶断として、真理として受け入れることに基づいているからである。このようなことは特に宗教で起こる。なぜならば、何らかの「教え」やドグマやカルト儀式が信者に差し出されると、信者はそれらを単純に抵抗することなく信じなければならず、それが正しいということの証明は決して与えられないからである。信仰とはすなわち思考の欠如と思考の怠惰に根差している。これに反して、知識は激しく休むことのない意識的な思考と作業を求めるのである。

(出典：『49 項目の質問と回答』)

Wahrheitliche, ehrliche Liebe ist nicht abhängig vom Geschlecht oder Alter.

真の誠実な愛は性や年齢に左右されない。

1945年5月23日水曜日

スイス国チューリヒ州ビューラハ村ニーダーフラックスにて、エドゥアルト

(出典：『Gedichte-Sprüche-Aphorismen』)

## フィグ・ヤーパンからのお知らせ

### □ FIGUスイス一般会員総会での活動報告 □

去る5月14日、FIGUスイスにて、世界中の会員が集う、一般会員総会が開催されました。各国の活動が順番に紹介される中、日本担当のシュテファン・リッカウアー氏に、フィグ・ヤーパンの活動報告をしていただきました。

### □ 大阪スタディーグループの結成 □

関西方面の読者の皆様にうれしいお知らせです。札幌、東京、山梨に続いて、2005年4月、大阪にFIGUスタディグループが結成されました。2ヶ月に一度、偶数月第2日曜日午後3時～5時に千里阪急ホテルにて集会が行われています。詳しくは、以下の連絡先にお問い合わせください。

FIGU大阪スタディクラブ

世話人 斉藤英治(電話 06-6832-3921)

Eメール web@saitohope.com

### □ これから出る本 □

コンタクト記録シリーズ2巻目となる、『プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録(2)』は、予定をおよそ1ヶ月早めて、7月1日に出版されました。フィグ・ヤーパンより初版を販売中ですので、この機会に是非お求めください。

『瞑想入門』は、講演会に合わせて出版を予定しておりましたが、FIGUスイスより、小規模な原文校正を実施する旨の連絡があり、出版を延期することになりました。このため、年内の出版を目標に、再度の翻訳校正を実施する予定です。

この他の書籍では、『アラハト・アテルザータ』が、

### 〈読者からの便り(書籍の感想)〉

・子供の頃、最近映画化された「宇宙戦争」の本を読みました。地球以外の星にも生物がいるに違いない、宇宙人はいる、とその頃から私は信じています。ビリー・マイヤーさんの本には、とても興味深い内容が書かれていました。私もいつか宇宙人に会ってみたいです。もちろん戦争ではなく、平和的に。(山梨県 女性)

・高校時代、UFOやバミューダトライアングルなど、神秘的なことにとっても興味を持っていましたが、結婚

規定による2名の訳者による翻訳が完了し、現在フィグ・ヤーパンにて内部校正中です。さらに、新規翻訳本の選定を、FIGUスイスと協議しながら検討しています。

なお、本号にて小冊子の新刊をご案内する予定でしたが、諸事情により作業が遅れております。次号以降にご案内差し上げますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

### □ 講演会へのお誘い □

巻頭にてお知らせした通り、FIGUスイスの基幹会員、シュテファン・リッカウアー、シモーネ・リッカウアー夫妻を招いた講演会を開催する運びとなりました。講演会は、フィグ・ヤーパンから翻訳出版を予定している『瞑想入門』に関連して、瞑想をテーマに行われます。人間の霊的な進化にとって大切でありながら、日常的な話題となることがほとんどなくなってしまった、瞑想の初歩を学ぶための絶好の機会です。瞑想にご関心をお持ちの方は、どなたでもご参加いただくことができますので、どうぞ奮ってお申し込みください。

### お礼

出版へのご支援を多くの読者の皆様から頂きました。フィグ・ヤーパン一同、ここに厚くお礼申し上げます。フィグ・ヤーパンでは、これからも翻訳出版活動を通じて、日本におけるFIGUのミッションを着実に進めて参ります。今後とも、引き続きご支援くださいますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

して子供を産んで、現実を見つめなければならなくなつてからは、そんなことは忘れかけていました。『プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録(1)』に出会い、またあの頃の気持ちを思い出したような気がします。コンタクト記録シリーズの第2巻も楽しみにしています。(山梨県 女性)

(フィグ・ヤーパンから出版された書籍や冊子の感想文をお待ちしております。)

## 出版物のご案内

### ■プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録(1)

(水瓶座時代出版刊)

価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)

### ■プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録(2)

**新刊!!** (水瓶座時代出版刊)

価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)

### ■わずかばかりの知識と知覚そして知恵(新風舎刊)

価格 3,150 円 (税込 送料別 870 グラム)

### ■宇宙の深遠より 一地球外知的生命プレアデスとのコンタクト (徳間書店刊)

価格 2,940 円 (税込 送料別 550 グラム)

### ■日本語版 水瓶座時代の声

価格 各 1,000 円 (税込)

83/2 号 (特集) (送料別 105 グラム)

87/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)

91/1 号 (特集) (送料別 135 グラム)

### ■第 235 回会見

価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)

### ■日本語版 FIGU 公報

6 号 価格 500 円 (税込 送料別 90 グラム)

30 号 価格 500 円 (税込 送料別 155 グラム)

38 号 価格 500 円 (税込 送料別 160 グラム)

### ■精神と物質の生命

価格 500 円 (税込 送料別 55 グラム)

### ■預言者エレミヤとエリヤの予告

価格 400 円 (税込 送料別 70 グラム)

### ■エノクの預言

価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)

### ■『瞑想入門』の手引き

価格 300 円 (税込 送料別 70 グラム)

### ■地球に平和あれ

価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)

### ■昨日、今日、明日の心配に関する考察

価格 100 円 (税込 送料別 15 グラム)

### ■生と死は互いに切り離しがたく結びついている

価格 100 円 (税込 送料別 25 グラム)

### ■FIGUの原則あるいは人間の原則

価格 300 円 (税込 送料別 40 グラム)

### ■プレヤール人が地球人に望むこと

価格 200 円 (税込 送料別 30 グラム)

※このページに掲載した以外の書籍につきましては、ホームページ等をご覧いただくか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

### □ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

### □ 郵便料金表 □

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 50 グラムまで 120 円  | 500 グラムまで 290 円  |
| 100 グラムまで 140 円 | 1000 グラムまで 340 円 |
| 150 グラムまで 180 円 | 2000 グラムまで 450 円 |
| 250 グラムまで 210 円 | 3000 グラムまで 590 円 |

※ 15,000 円以上あるいは 3000 グラムを超える

場合の郵送料は無料です。

### □ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758

加入者名：FIGU-JAPAN

(アルファベットで記入して下さい)

金額：送料を含めた合計金額

払込人：あなたの住所、氏名、電話番号

通信欄：購入する書籍名と冊数

### フィグ・ヤーパン通信 第 23 号 (無料)

発行日 2005 年 7 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-JAPAN)

住所 〒192-0916

東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305

電話 0426 (35) 3741

FAX 0426 (37) 1524

URL <http://jp.figu.org/>

E-mail [jp@figu.org](mailto:jp@figu.org)

郵便振替 00160-4-655758

加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製複製することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2005 by FIGU-JAPAN. All rights reserved.